

資料

第5回市民福祉分科会資料

2006年2月28日

議事次第

■ 分科会は合計2時間で行います

次第	時間	内容
1 開会	5分	①挨拶 ②出欠確認(出欠表の記入) ③前回の検討内容(議事録・整理表)の確認
2 検討の進め方	10分	①検討の進め方に関する説明 ②本日の目標確認
3 話し合い	90分	重点課題の抽出
4 とりまとめ	10分	模造紙へのとりまとめ
5 閉会	5分	①次回の内容 ②次回の日程 ③意見・質問 ④最終総括(会長)

本日の分科会の目的と成果物

- 第3、4回で検討した重点課題を振り返ります
- 前回までに議論し足らなかったところを補います
 - ✓強みで今後も継続・発展すべき課題
 - ✓これまでの市の施策ではあまり取り上げてこなかった課題
- 重点課題を絞り込みます

本日の分科会の成果物

重点課題検討表

外観要素分析	SWOT分析 重点課題検討表	内観要素分析		
		強み (Strength)	弱み (Weakness)	
		機会 (Opportunities)	強みて機会を活かすための課題	弱みを強化して機会を逃さないための課題
		脅威 (Threats)	強みて脅威を克服するための課題	弱みを強化して 最悪の事態を招かないための課題

重点課題検討手順 出来上がりイメージ 教育分野の例

※この表は、参考事例であり、宇都宮市を分析したものではありません

内部資源分析			
SWOT分析 重点課題検討表		強み (Strength)	弱み (Weakness)
		教育活動に協力的な民間事業者の存在	外国語を話せる教員が少ない
		一定の質・量が確保された教育施設	ITリテラシーを教えられる教員が少ない
		教育系NPOが育ってきている	総合学習などマニュアルのない授業に対応できない教員が多い
機会 (Opportunities)		強みで機会を活かすための課題	弱みを強化して機会を逃さないための課題
国際化の進展により、英語を中心とした外国語能力が求められる			英語教育需要の高まりに対して、教員の英語力向上をはかる
自ら学び、自ら判断できるようになる教育が求められている		自ら学び、判断出来るようになるという教育ニーズに対して、民間事業者との連携によりディベートや意思決定・マネジメント等が学べる機会を提供する	
体験学習や総合学習ニーズの高まり		体験学習・総合学習ニーズの高まりに対し、NPOと連携することによって幅広い実践的な教育サービスを提供する	
情報社会化によるIT教育ニーズの高まり			ITリテラシー教育ニーズに対応するために、教員のITスキルを強化する
脅威 (Threats)		強みで脅威を克服するための課題	弱みを強化して最悪の事態を招かないための課題
英語による一般教科科目へのニーズの高まり			英語による一般科目教授需要に対応するために、英語圏から当該科目講師を招聘する
子どもの安全管理・確保		子どもの安全確保のために、NPOと協力して域内パトロールを行う	
実用性の薄い教育への批判		実用性の低い教育を回避するために、民間事業者と連携することにより、実践的な教育機会を提供する	
少子化による児童・学生数の減少		児童の減少に対して、小中高の教員数や施設を徐々に縮小する	
家庭の教育力の低下		家庭の教育力低下に対応するために、NPO等と連携し、地域全体で教育する体制を築く	

重点課題(検討例) ※下記は検討例です

強みで機会を活かすための課題

◇高齢者や障害者が外出しやすい環境の整備
(低床バスの増加など)

弱みを強化して機会を逃さないための課題

◇退職者を活用した地域活動の推進
(シルバー人材センターでのボランティアなど)

強みで脅威を克服するための課題

◇病気の予防、健康づくりの推進

弱みを強化して最悪の事態を招かないための課題

◇子育てへの経済的支援の拡充

- 前回までの議論を議事録を参考に確認し、議論が十分ではない点を議論します。
 - たとえば、強みについての議論
 - あまり議論されていない分野（児童福祉など）についての議論
- 重点課題の数を絞ります。

＜全体会において発表する重点課題を整理＞